



写真提供:
安田菜津紀
/Dialogue for
People

12月15日(土)

逗子フェアトレード・フォーラム

SDGs と世界の子どもたち

2030年までの国際社会の目標として国連で採択された「持続可能な開発目標：SDGs（エスディジーズ）」。「子どもや女性を含め地球上の“誰も置き去りにしない”世界の実現をめざすSDGsに向き合うことは、今や全人類の課題となっています。世界の子どもたちの現状と私たちの暮らしとの関係は？私たちにできることは？一緒に考えてみませんか？

時間：13：00～17：00（12：30開場）

場所：逗子文化プラザさざなみホール

（京浜急行「新逗子」駅より徒歩2分/ JR「逗子」駅より徒歩5分）

＜無料/申し込み不要/出入り自由＞

主催：逗子フェアトレードタウンの会

共催：東海大学教養学部、逗子市教育委員会

協力：逗子市、かながわ開発教育センター（K-DEC）、ACE

後援：東海大学大学院人間環境学研究所

お問い合わせ：逗子市市民協働課 [Tel:046-872-8156](tel:046-872-8156)（直通）

：東海大学教養学部 [Tel:0463-58-1211](tel:0463-58-1211)（代表）（自然環境課程 岩本 泰）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



13:00 開会

第1部 13:10～15:30
（逗子市人権教育講演会）

★講演「SDGsと私たち」
長澤恵美子さん
（一社）日本経済団体連合会
SDGs本部 統括主幹

★パネルトーク「SDGsと
逗子の私たち」

●話題提供「チェンジの扉
～児童労働に向き合って」
岩附由香さん
認定NPO法人 ACE 代表

●パネラー 小田鈴子さん
元副市長、みんなの食堂

★100 ミリオン・キャンペーン

第2部 15:30～16:30

学生・ユース企画

「世界の子どもたちのために
チェンジの扉を開こう！」

フェアトレードの取り組みについて継続的に学んでいる東海大学教養学部 SOHUM プログラムの学生たちを中心に若者たちがプレゼンします。

17:00 閉会

*フェアトレード・マーケット
13:00～17:00 出入り自由



あなたの買い物が 世界を変える

逗子市は、日本で3番目の
フェアトレードタウンです。



フェアトレード?

開発途上国の小規模生産者や女性など弱い立場の人々に対して**公平な貿易**を行うことで**経済的な自立**を支援する開発協力です。

フェアトレードタウン?

市民一人一人と共に、行政、企業・商店、市民団体などが**一体となってまちぐるみ**でフェアトレードの輪を広めようとする運動です。

登壇者紹介:



長澤恵美子:

(一社)日本経済団体連合会
SDGs 本部 統括主幹

1983年経団連事務局入局。1991年から企業の社会的責任や社会貢献活動の推進を担当。2009年から経団連事業サービスに出向し、企業人向け研修の企画・運営に従事。2017年4月から現職。企業行動憲章の改定、SDGsの推進を担当。



小田鈴子:

元・逗子副市長。
久木小学校区住民自治協議会
子ども部会・ふれあい部会
みんなの食堂を運営。



岩附由香:

認定NPO法人ACE(エース)代表

大阪大学大学院国際公共政策研究科に在学中、カイラシュ・サティヤルティ氏(2014年ノーベル平和賞受賞)の呼びかけた児童労働撤廃のグローバルなムーブメントをきっかけにACEを発足させ、以後代表を務める。現在児童労働ネットワーク事務局長、児童労働に反対するグローバルマーチ理事、2019G20サミット市民社会プラットフォーム共同代表、エシカル推進協議会理事も務め、アドボカシー活動に力を入れている。2児の母。

★100 ミリオン・キャンペーン: 1億人の子供・若者が、世界の底辺で暮らす1億人の子供のためにアクションを起こし、社会を変革するための活動です。
(ノーベル平和賞受賞 カイラシュ・サティヤルティ氏発案の世界的なキャンペーン)



逗子フェアトレードタウンの会(FTTZ)

フェアトレードを逗子や神奈川県に広めることを通じて世界とつながるまちづくりをめざしています。勉強会や映画祭を開催したり、「逗子珈琲」や「すしチョコ」等のフェアトレード商品の開発にも取り組んだりしています。

フェアトレード・ユースプログラム(FTYP)

高校生や大学生などのユースを対象に、様々な地球的課題とその解決方法について考え、アクションを起こすことを目標とした半年間の学習プログラムです。逗子フェアトレードタウンの会と逗子市との協働事業です。

東海大学教養学部 SHOUM

「アースミュージアム」プロジェクト:

過度の商業的利益や経済的効率性追求といった点に対して批判的思考を持ち、一人一人が共に生きることができる公正な地球社会づくりへの具体的な参加について考え、行動する人を育成する学習プロジェクト。倫理的(エシカル)消費、フェアトレード、フェアトレードタウンを学習のキーワードとして学んでいます。

担当: 岩本 泰・室田憲一(人間環境学科自然環境課程) 梶井龍太郎・近藤真由(芸術学科音楽学課程)・木下理仁(国際学科)